

この曲がいい！この振付したい！

ねらい：音楽を聞くこと、音に合わせてお友達と一緒に踊ることを楽しむ。

作成日：10月16日
対象児：4歳児 さくら組
作成者：吉岡愛佳



～振り返り～

給食の時間や自由遊びの時間、「音楽かけて！」と歌う事、きくことを楽しんでいる子ども達の姿があります。また、曲に合わせて自分なりに踊る姿も見られます。さくら組は女の子と男の子の2グループに分かれて発表をします。

踊る曲を悩んでいたところ、女の子達が「この曲かわいい！踊りたい！」と3曲提案してくれました。希望が出たので、女の子で集まって話し合い、多数決で決めることになりました。2曲は踊ることが出来なくなってしまうのですが「選ばれなかった2曲の振りを入れる？」と聞くと、「この振りをしたい！」「この振りはかわいい！」「これは踊らなくて大丈夫！」と選ばれなかった曲を希望していた子も自分の思いを伝えたり、希望していた曲になった子も「それいいね！その振り入れたい！」とお互いに積極的に話し合ったり認め合う姿がありました。また、片足を上げてポーズを決めたい！という案も子ども達から出たのですが、「フラフラしちゃう」「難しい」と言う声もありました。そこで、「どうする？」「どっちの方がみんなが踊りやすいかな？」と声をかけると、「足つける！」「つま先にする！」とお友達に寄り添う姿がありました。

男の子も曲が決まったのですが、一部の振付が決まらず、どうやって踊りたいか聞いてみることにしました。すると、「このポーズしたい！」「これは？！」と楽しそうにポーズを決めたり「それがいい！」とお友達と認め合う姿が見られました。この日はみんなで振りを決めて少し踊ったのですが、「まだ踊りたい！」という声や、自由遊びの時間に曲が流れるとき踊る姿があり、発表会を楽しみにしている子ども達の姿があります。「踊りたい」という気持ちを大切にしながら発表会の活動ができたらいいなと思います。また、子どもたちが取り入れたい他の曲の振りや、自分達で考えたポーズ、見つけていただけたらなと思います。
(健康な心と体、協同性、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)